

平成27年度 事業報告書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

学校法人 星美学園

I 学校法人の概要

本学校法人星美学園は、教育基本法及び学校教育法に従い、建学の精神(学園の理念)に則って学校教育を行い、「誠実な人間、よき社会人を育てる」ことを目的としております。

この目的を達成するために設置された本学校法人星美学園の平成27年度における概要は、以下のとおりであります。

1. 主要な運営指標等の推移

区 分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
生徒在籍者数(単位:名)	1,071	1,082	1,069	1,073	1,080
高等学校	385	398	373	352	365
中学校	127	155	178	202	202
小学校	400	376	362	352	336
幼稚園	159	153	156	167	177
教職員数(単位:名)	110	112	113	117	125
高校教職員数	53	52	49	49	48
中学校教職員数	12	13	15	19	22
小学校教職員数	32	33	33	32	37
幼稚園教職員数	13	14	16	17	18
帰属収入(単位:円)	923,494,768	945,151,298	977,207,520	1,007,594,469	987,863,665
消費支出(単位:円)	973,352,255	987,919,321	1,033,443,072	1,053,987,964	1,012,710,803
資金収入(単位:円)	1,018,231,019	1,051,009,609	1,023,148,631	1,102,474,218	1,150,416,703
資金支出(単位:円)	1,040,222,854	1,089,590,221	1,039,706,156	1,116,395,028	1,145,829,386
借入金残高(単位:円)	731,250,000	675,000,000	618,750,000	562,500,000	506,250,000

区 分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
消費収支関係財務比率(単位:%)					
①消費支出比率	105.4%	104.5%	105.8%	104.6%	102.5%
②学生生徒等納付金比率	48.1%	48.3%	47.2%	45.5%	48.1%
③人件費比率	75.6%	73.3%	75.7%	74.9%	74.1%
④教育研究経費比率	20.7%	21.9%	21.4%	21.2%	19.1%
⑤帰属収支差額比率	-5.4%	-4.5%	-5.8%	-4.6%	-2.5%
⑥補助金比率	40.2%	41.7%	39.6%	39.5%	40.8%
⑦寄付金比率	3.1%	3.5%	3.4%	3.4%	3.4%
貸借対照表関係財務比率(単位:%)					
⑧流動比率	173.2%	157.8%	163.8%	139.1%	135.8%
⑨基本金比率	83.3%	84.7%	86.0%	87.4%	88.6%
⑩負債比率	44.7%	42.2%	41.5%	41.6%	37.0%

(注)上記指標は、次の算式により算出しております。

- ①消費支出比率＝消費支出／帰属収入
- ②学生生徒等納付金等納付金比率＝学生生徒等納付金／帰属収入
- ③人件費比率＝人件費／帰属収入
- ④教育研究経費比率＝教育研究経費／帰属収入
- ⑤帰属収支差額比率＝帰属収支差額／帰属収入
- ⑥補助金比率＝補助金／帰属収入
- ⑦寄付金比率＝寄付金／帰属収入
- ⑧流動比率＝流動資産／流動負債
- ⑨基本金比率＝基本金／基本金要組入額
- ⑩負債比率＝総負債／自己資金(＝基本金＋消費収支差額)

2. 建学の精神

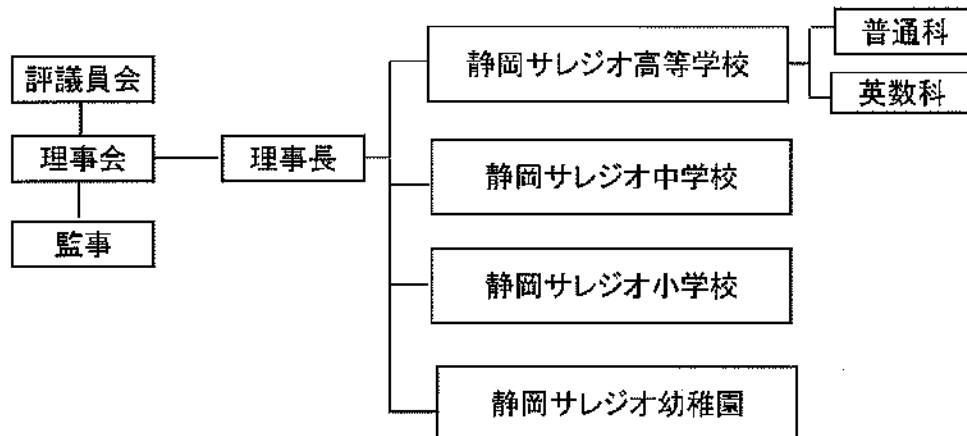
創立者ヨハネ・ボスコは、キリストの教えた人生観や人間観に基づき、教育の場で児童・生徒の心に愛情、知性、正しい良心をはぐくみ育てる予防教育法という独自の教育方法を打ち出した。聖ヨハネ・ボスコの教育理念は彼の創設したカトリック修道会サレジオ会及び女子修道会サレジオ・シスターズによって継承され、その使命であるサレジオ精神は「常に若者のために奉仕する」ことにある。

本学園はこの教育法を通してカトリック精神に基づき「誠実な人間、よき社会人を育てる」ことを目的とした教育活動を実践し、現代社会に具現化するために創設された。

3. 沿革

昭和20年6月	静岡市内にあった静岡城内高等女学校(本学園の前身)は、戦災により一切を焼失し、復興が困難におちいった。このため、東京星美学園のレチア・ベリアツチ院長が経営を引き受ける。
昭和22年3月	財団法人扶助者聖母会に経営移管、学制改革のもと星美学園発足。
昭和22年6月	静岡星美中学校設置認可。
昭和23年9月	静岡星美高等学校設置認可。
昭和24年4月	星美保育園設置認可。
昭和25年12月	学校法人星美学園設立。(私立学校法公布)
昭和26年3月	静岡星美小学校設置認可。
昭和29年3月	星美保育園廃止。星美幼稚園設置認可。幼稚園、小学校、中学校、高等学校の4校種からなる一貫教育をめざす総合学園となる。
昭和31年9月	講堂新築。
昭和34年12月	創立10周年を期し、本校舎(1号館)を新築。
昭和36年11月	体育館新築。
昭和40年3月	幼稚園舎、聖堂新築。
昭和42年3月	幼稚園遊戯室新築。
昭和48年5月	創立25周年を期し、小学校校舎・特別教室棟(4・5号館)を新築。
昭和54年12月	創立30周年を期し、特別教室棟(2号館)を新築。
昭和58年1月	幼稚園管理棟新築。
昭和59年12月	創立35周年を期し、特別教室棟(6号館)を新築。屋上にブロンズ・マリア像が安置された。
昭和63年9月	創立40周年を期し、第2体育館を新築。
平成3年4月	テニスコート(オムニコート)2面完成。
平成3年8月	高等学校英数科設置認可。
平成5年10月4日	柴山節子理事長帰天。
平成11年11月	創立50周年を期し、学園総合整備計画の一環として中高校舎・講堂・体育館・卓球場・弓道場を新築。
平成12年4月	高等学校英数科・中学校男女共学化。
平成15年4月	新しい時代に向け校名を「静岡サレジオ高等学校・中学校・小学校・幼稚園」に改称。高校普通科・進学コース男女共学化。
平成16年8月	4号館(小学校校舎)、5号館(中・高校舎)耐震補強工事完成
平成17年5月	幼・小・中・高校の全教室に空調機を設置。(全教室冷暖房完備)
平成18年12月	2号館耐震補強・改修工事完成
平成19年6月	幼稚園園舎・研修棟新築 幼稚園遊戯室耐震補強工事完成
平成21年1月31日	創立60周年記念式典挙行。父母の会よりドン・ボスコ像、同窓会よりグランドピアノが寄贈された。
平成23年5月2日	上智大学と教育提携締結。
平成24年8月	2号館3F改修工事完成。 6号館3F科学室・1F家庭科室改修工事完成
平成25年2月	本学小・中・高等学校がNZミルトン・グラヴ・スクールとフレンドシップ校提携を締結

4. 組織等



法人組織

学校法人星美学園(以下「法人」)は、教育基本法および学校教育法に従って、学校を設置することを目的に設置された法人であり、現在静岡サレジオ高等学校、静岡サレジオ中学校、静岡サレジオ小学校、静岡サレジオ幼稚園を設置している。

法人組織における役員および諸機関と役割はおよそ次のとおりである。

理事会

法人の最高の意思決定機関である。予算や決算、重要な資産の処分、寄付行為の変更等の重要事項はすべて理事会の議決を経なければならない。

評議員会

理事会の諮問機関である。

理事長

法人の代表者である。また、法人内部の事務の統括者(私立学校法第37条)であり、理事会、評議員会の招集者である。

5. 校種別入学定員、在籍者数の状況

(平成27年5月1日現在)

校種	学年・課程		学則定員	募集定員	生徒数
高等学校	1年	普通	170	170	139
	2年	英数	60	60	42
		普通	110	110	65
		計	170	170	107
	3年	英数	60	60	37
		普通	110	110	82
		計	170	170	119
	計	英数	120	120	79
		普通	390	390	286
		計	510	510	365
中学校	1年		80	80	69
	2年		80	80	69
	3年		80	80	64
	計		240	240	202
小学校	1年		70	70	53
	2年		70	70	46
	3年		70	70	53
	4年		70	70	60
	5年		70	60	63
	6年		70	60	61
	計		420	400	336
幼稚園	満3歳		60	60	1
	年少				49
	年中		60	60	74
	年長		60	60	53
	計		180	180	177
合計			1,350	1,330	1,080

6. 教職員数等

(平成27年5月1日現在)

区 分		高等学校	中学校	小学校	幼稚園	合計
教 員	校長(園長)	1	(1)	(1)	1	2
	副校長	1				1
	教 頭(主任)	1	1	1	1	4
	教 諭	19	14	19	7	59
	養護教諭	1		3		4
	常勤講師	6	1	5	1	13
	非常勤講師	10	3	4	7	24
	計	39	19	32	17	107
職 員	事務長	1				1
	事務次長					0
	事務員	4	2	2		8
	嘱 託	3			1	4
	実習助手	1	1	3		5
	計	9	3	5	1	18
合計		48	22	37	18	125

()内は兼務

7. 役員の状況

(平成27年5月1日現在)

【理事・監事・顧問】

職名	氏名	選出区分	摘要
理事長	福塚敏彦	2号	元中高校長
理事	末吉弘治	1号	小・中・高等学校校長
〃	見城澄枝	2号	目黒修道院長
〃	附柴義巳	〃	元事務長
〃	石月中	3号	前老人福祉施設長
〃	青木二郎	〃	弁護士
〃	野中康子	〃	扶助者聖母会修道女
〃	松尾 貢	〃	カトリック鷺沼教会主任司祭
〃	佐野 仁	〃	公認会計士
監事	堀場滋雄	—	静岡サレジオ後援会顧問
〃	山梨由博	—	静岡サレジオ後援会顧問
顧問	梅村昌弘	—	カトリック司教 横浜教区長

【評議員】

職名	氏名	選出区分	摘要
評議員	末吉弘治	1号	小・中・高等学校校長
〃	河原崎靖子	〃	幼稚園長
〃	加藤暢彦	2号	高校副校長
〃	渡邊泰夫	〃	高校教頭
〃	金井 生	〃	高校教諭
〃	菅原八郎	〃	小学校教頭
〃	杉田勢津子	〃	高校嘱託
〃	曾根幹子	3号	同窓会長
〃	大澤節子	〃	中学校嘱託
〃	中村さとみ	〃	高校教諭
〃	野中康子	4号	扶助者聖母会修道女
〃	福塚敏彦	〃	理事長
〃	石月中	〃	前老人福祉施設長
〃	青木二郎	〃	弁護士
〃	見城澄枝	〃	目黒修道院長
〃	松尾 貢	〃	カトリック鷺沼教会主任司祭
〃	村瀬正典	〃	元父母の会副会長
〃	佐野 仁	〃	公認会計士
〃	附柴義巳	〃	元事務長

II 事業の概要

本学園は平成15年度に校名を「静岡星美」から「静岡サレジオ」(高等学校・中学校・小学校・幼稚園)に改称し、男女共学の一貫教育の総合学園として、教育改革に取り組み、また施設整備の充実に努めてまいりました。

平成27年度における主な内容をご報告いたします。

(カレッジ)

- ・高校普通科特別進学コース・中高英数科一貫カリキュラムの指導の充実と研究
- ・国際理解教育の充実
 - 第10回フィリピン・ボランティア研修の実施(8/7～12) 参加者18名 引率4名
 - ネグロス島マリハウ支部の学生たちと合同企画でボランティア・キャンプを開催
 - 約300名の子どもたちを招いて交流
- ・平成28年度入試結果
 - 広報活動の強化(広報メディアの充実、体験入学・説明会の充実)
 - 募集活動の強化(普通科定員確保の継続)
 - 入学者:外部63名:静岡地区26名(男14、女12)、清庵地区18名(男8、女10)、他地区23名(男7、女12)
 - 内部60名 合計 123名(男53、女70)
- ・進学状況:大学73 短大2 専修学校26 就職6 その他12 計119名

(ミドル)

- ・上智大学との教育提携
 - 上智大学見学(中学1年69名 キャンパスツアー 7月17日)
 - 上智大学 瀬本正之教授 宗教講話 6/20 10/3 2/6
- ・生徒募集活動(年間)
 - 募集活動の反省と見直し
 - (内部)40名 (外部)A日程:入学19名、B日程:3名、C日程:1名、計23名
 - 合計63名(男31、女32)
- ・中学行事の見直しと充実
 - 4月 中1新入生研修(二泊三日 4月22日～24日 : 富士山YMCAグローバル・エコ・ビレッジ)
 - 3月 中2京都奈良飛鳥研修(3泊4日 3/8～11)

(プライマリー)

- ・授業研究の推進(確かな学力の育成)
 - 学校公開日を設けて、研究成果を発表した。
 - 基礎基本の学力(1～4年)と自主的、発展的な力(5,6年)を系統的に育成した。
 - 国語、算数、国際の3部門別に研究チームをつくり、見せ合い授業、中心授業を実施した。
 - プライマリーメソッドの導入
 - よむとくメソッド(読書)
 - ウィークリーテスト(計算)
 - 児童英検オンライン版
- ・上智大学との連携を視野に英語・国際の授業を強化し、静岡サレジオ公開研究会を実施した。(11/7)
- ・オーストラリア・セントマリー小学校との交流をより日常の授業に反映できるようにホームページを利用しての交流。
- ・学童保育(トホ・スコーラ)の充実(場所、対象者の拡張)
- ・サレジオ中学への内部進学者40名(61人中)となった。

(幼稚園)

- ・子育て支援
 - 早朝保育 預かり保育の実施
 - 星の子広場 2～3歳児対象
 - 1～2歳児対象
 - ベビーマッサージ 0歳児
 - リトミック 1～3歳児
- ・アンジェリーナ実施
- ・HPによる外部発信
- ・父の会(ダディーズ)による奉仕活動
- ・母親親睦(区P連) バルーンバレーボール
- ・入園説明会
- ・満3歳児説明会
- ・年長児(卒業生)アンケート実施

当年度に行った主な施設整備事業は次のとおりです。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・幼稚園砂場設置工事・防犯カメラ更新工事・エアコン更新工事(筆曲室・小事務室)・5号館屋上防水工事・2号館用水ポンプ取替工事 |
|--|

Ⅲ 財務の概要

(1) 資金収支計算(総括表)

(収入の部)

(単位:円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学 生 生 徒 等 納 付 金 収 入	474,430,000	475,615,128	△ 1,185,128
手 数 料 収 入	2,735,000	2,841,670	△ 106,670
寄 付 金 収 入	31,500,000	33,422,194	△ 1,922,194
補 助 金 収 入	388,200,000	403,098,206	△ 14,898,206
資 産 運 用 収 入	2,290,000	2,600,299	△ 310,299
事 業 収 入	32,400,000	34,689,577	△ 2,289,577
雑 収 入	36,213,725	35,596,591	617,134
前 受 金 収 入	38,210,000	37,875,000	335,000
そ の 他 の 収 入	173,116,142	185,072,759	△ 11,956,617
資 金 収 入 調 整 勘 定	△ 60,952,950	△ 60,394,721	△ 558,229
当 年 度 資 金 収 入 合 計	1,118,141,917	1,150,416,703	△ 32,274,786
前 年 度 繰 越 支 払 資 金	237,386,436	237,386,436	
収 入 の 部 合 計	1,355,528,353	1,387,803,139	△ 32,274,786

(支出の部)

科 目	予 算	決 算	差 異
人 件 費 支 出	755,611,725	752,280,630	3,331,095
教 育 研 究 経 費 支 出	100,780,000	94,740,644	6,039,356
管 理 経 費 支 出	85,240,000	82,402,419	2,837,581
借 入 金 等 利 息 支 出	940,000	928,125	11,875
借 入 金 等 返 済 支 出	56,250,000	56,250,000	0
施 設 関 係 支 出	2,250,000	2,235,600	14,400
設 備 関 係 支 出	10,780,000	8,028,150	2,751,850
資 産 運 用 支 出	42,904,400	42,903,940	460
そ の 他 の 支 出	116,479,576	116,429,810	49,766
予 備 費	3,000,000	0	3,000,000
資 金 支 出 調 整 勘 定	△ 10,525,858	△ 10,369,932	△ 155,926
当 年 度 資 金 支 出 合 計	1,163,709,843	1,145,829,386	17,880,457
次 年 度 繰 越 支 払 資 金	191,818,510	241,973,753	△ 50,155,243
支 出 の 部 合 計	1,355,528,353	1,387,803,139	△ 32,274,786

当 年 度 資 金 収 支 差 額	△ 45,567,926	4,587,317	△ 50,155,243
-------------------	--------------	-----------	--------------

(2)消費収支計算(総括表)

(収入の部)

(単位:円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学 生 生 徒 等 納 付 金	474,430,000	475,615,128	△ 1,185,128
手 数 料	2,735,000	2,841,670	△ 106,670
寄 付 金	31,500,000	33,422,194	△ 1,922,194
補 助 金	388,200,000	403,098,206	△ 14,898,206
資 産 運 用 収 入	2,290,000	2,600,299	△ 310,299
事 業 収 入	32,400,000	34,689,577	△ 2,289,577
雑 収 入	36,213,725	35,596,591	617,134
帰 属 収 入 合 計	967,768,725	987,863,665	△ 20,094,940
基 本 金 組 入 額 合 計	△ 69,280,000	△ 40,702,805	△ 28,577,195
消 費 収 入 の 部 合 計	898,488,725	947,160,860	△ 48,672,135

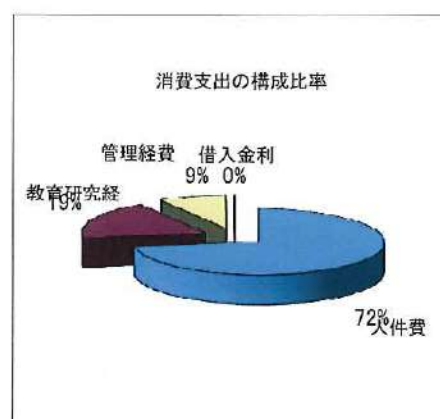
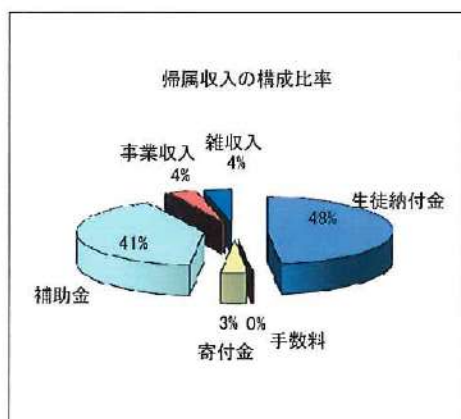
(支出の部)

科 目	予 算	決 算	差 異
人 件 費	734,210,000	731,709,030	2,500,970
教 育 研 究 経 費	194,780,000	188,634,668	6,145,332
管 理 経 費	91,040,000	87,333,134	3,706,866
借 入 金 等 利 息	940,000	928,125	11,875
資 産 処 分 差 額	4,085,115	4,085,115	0
徴 収 不 能 額	20,731	20,731	0
予 備 費	3,000,000	0	3,000,000
消 費 支 出 の 部 合 計	1,028,075,846	1,012,710,803	15,365,043
当 年 度 消 費 支 出 超 過 額	129,587,121	65,549,943	
前 年 度 繰 越 消 費 支 出 超 過 額	1,871,033,566	1,871,033,566	
基 本 金 取 崩 額	6,114,374	6,114,374	
翌 年 度 繰 越 消 費 支 出 超 過 額	1,994,506,313	1,930,469,135	

帰 属 収 支 差 額	△ 60,307,121	△ 24,847,138	△ 35,459,983
帰 属 収 支 差 額 比 率	-6.2%	-2.5%	-

注1 帰属収支差額=帰属収入-消費支出

注2 帰属収支差額比率=帰属収支差額÷帰属収入×100



(3)貸借対照表(総括表)

資産の部

(単位:円)

科 目		本年度末	前年度末	増 減
資 産	固定資産	2,306,778,225	2,394,369,045	△ 87,590,820
	有形固定資産	2,254,361,822	2,346,775,445	△ 92,413,623
	その他の固定資産	52,416,403	47,593,600	4,822,803
	流動資産	266,963,534	300,173,903	△ 33,210,369
	合 計	2,573,741,759	2,694,542,948	△ 120,801,189

負債の部、基本金の部、消費収支差額の部

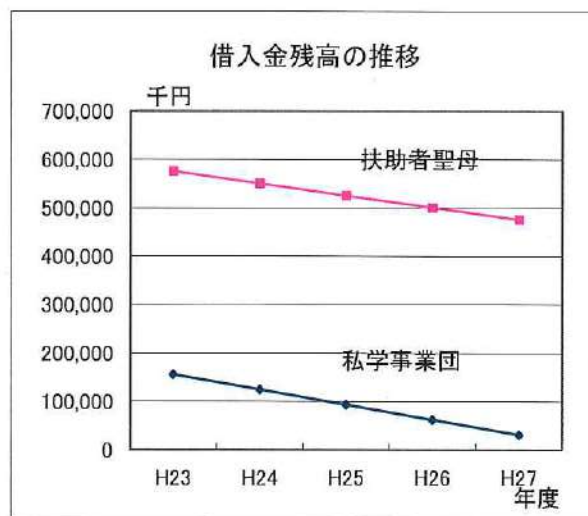
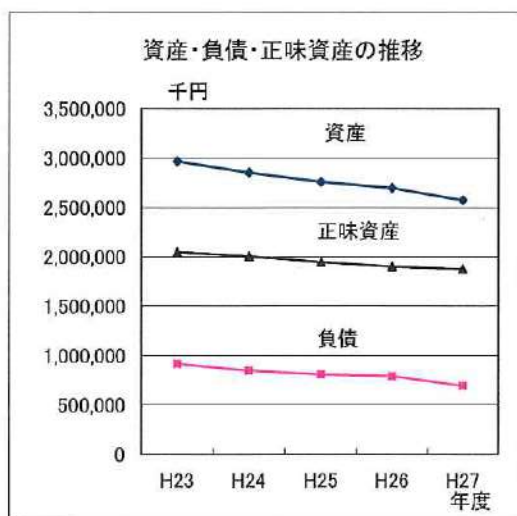
科 目		本年度末	前年度末	増 減
負 債	固定負債	498,780,900	575,602,500	△ 76,821,600
	流動負債	196,657,904	215,790,355	△ 19,132,451
	計	695,438,804	791,392,855	△ 95,954,051
基 本 金		3,808,772,090	3,774,183,659	34,588,431
消費収支差額		△ 1,930,469,135	△ 1,871,033,566	△ 59,435,569
合 計		2,573,741,759	2,694,542,948	△ 120,801,189

(参考)

正味資産	1,878,302,955	1,903,150,093	△ 24,847,138
------	---------------	---------------	--------------

※正味資産＝資産－負債(＝基本金＋消費収支差額)

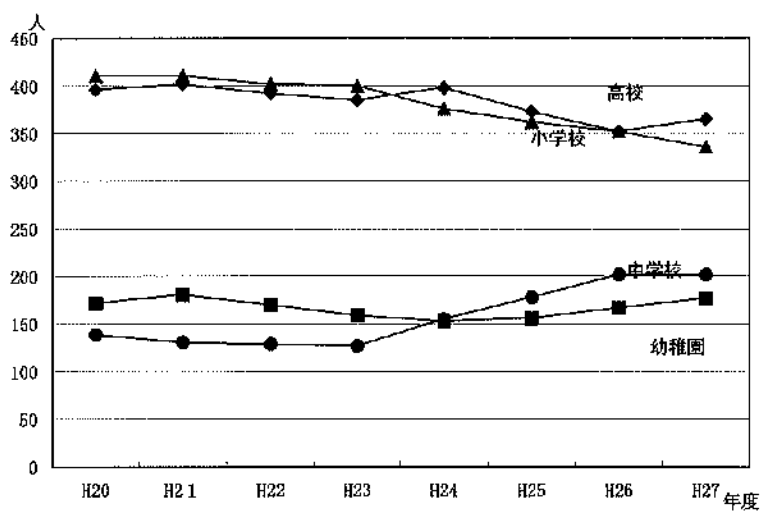
減価償却額の累計額	1,975,912,316	1,904,874,504	71,037,812
基本金未組入額	491,250,000	546,068,950	△ 54,818,950
借入金残高	506,250,000	562,500,000	△ 56,250,000



IV 参考資料

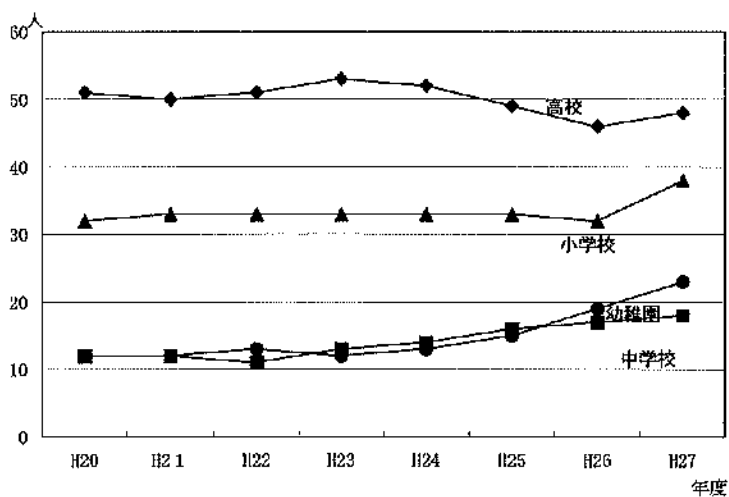
(1) 生徒数の推移

年度	高校	中学校	小学校	幼稚園	合計
H20	396	139	411	172	1,118
H21	402	131	411	181	1,125
H22	392	129	402	170	1,093
H23	385	127	400	159	1,071
H24	398	155	376	153	1,082
H25	373	178	362	156	1,069
H26	352	202	352	167	1,073
H27	365	202	336	177	1,080



(2) 教職員数の推移

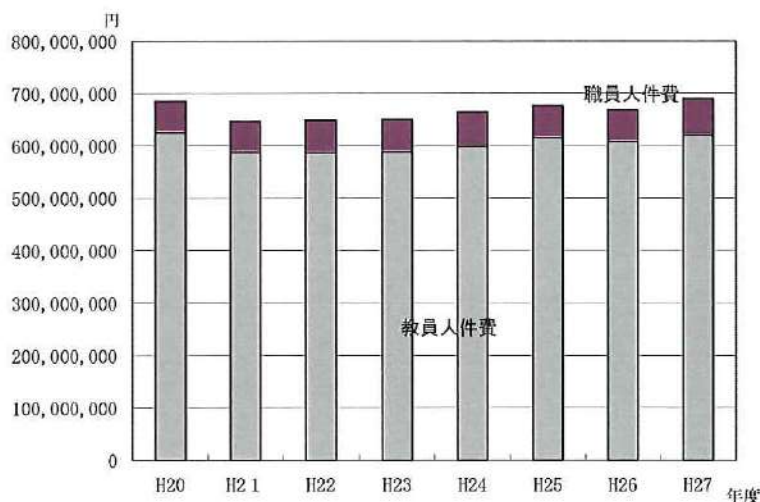
年度	高校	中学校	小学校	幼稚園	合計
H20	51	12	32	12	107
H21	50	12	33	12	107
H22	51	13	33	11	108
H23	53	12	33	13	111
H24	52	13	33	14	112
H25	49	15	33	16	113
H26	46	19	32	17	114
H27	48	23	38	18	127



(3) 人件費(教員・職員)の推移

(単位:円)

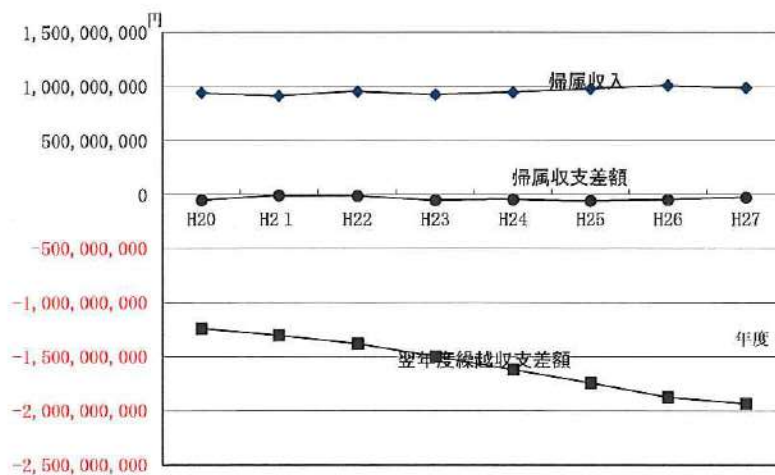
年度	教員人件費	職員人件費	合計
H20	626,034,428	59,488,853	685,523,281
H21	587,752,335	58,673,527	646,425,862
H22	587,354,287	61,126,446	648,480,733
H23	588,698,282	61,495,591	650,193,873
H24	599,526,198	65,107,262	664,633,460
H25	615,211,679	60,987,151	676,198,830
H26	608,129,674	60,399,865	668,529,539
H27	620,945,495	68,899,281	689,844,776



(4) 帰属収入と帰属収支差額の推移

(単位:円)

年度	帰属収入	帰属収支差額	翌年度繰越収支差額
H20	939,845,803	△ 50,148,217	△ 1,237,342,220
H21	911,910,744	△ 6,435,869	△ 1,298,288,550
H22	952,378,933	△ 9,799,288	△ 1,376,859,195
H23	923,494,768	△ 49,857,487	△ 1,494,477,977
H24	945,151,298	△ 42,768,023	△ 1,617,242,358
H25	977,207,520	△ 56,235,552	△ 1,736,923,185
H26	1,007,594,469	△ 46,393,495	△ 1,871,033,566
H27	987,863,665	△ 24,847,138	△ 1,930,469,135



(5)消費収支計算の財務比率の推移

年度	消費支出比率	学納金比率	人件費比率	教研経費比率	帰属収支差額比率	補助金比率	寄付金比率
H20	105.3	47.9	75.9	20.4	-5.3	40.6	4.6
H21	100.7	49.6	71.6	20.0	-0.7	41.6	3.8
H22	101.0	48.1	72.6	19.5	-1.0	39.3	3.9
H23	105.4	48.1	75.6	20.7	-5.4	40.2	3.1
H24	104.5	48.3	73.3	21.9	-4.5	41.7	3.5
H25	105.8	47.2	75.7	21.4	-5.8	39.6	3.4
H26	104.6	45.5	74.9	21.2	-4.6	39.5	3.4
H27	102.5	48.1	74.1	19.1	-2.5	40.8	3.4

